

台風二十三号から一年；

去年の台風二十三号は、日本各地にとってつ
もないような被害を与えました。特に但馬は
床上浸水した家が多く、けが人や死亡者まで
出しました。豊岡市日高町の赤崎地区にある
僕の家は二階まで浸水しました。外にあふれ
る泥水、水がふき出す床など、その時に見た
光景は今でも忘れていません。

台風二十三号が襲来した日の夕がた、避難
した僕は窓の外を見ていました。ゴウゴウと

風がうなり、雨は激しくザーザー降り、家の
周りはあいかわらず木材などが流れる泥水の
海でした。そんな光景を見ながら僕は「もし
かしたら僕は死んでしまいかもしれない」と
思い、恐怖をも感じていました。
次の日、僕の家族は全員不事で、再会を喜
んでいました。しかし、その日から家族全
員で我家の復帰を目指す日々が始まりました。
まず、改めて家の中を見回して驚いたことは、
たんすや食器棚、冷蔵庫などの大きな物が倒

れていたことで、台風のおさまじさを物語っ
ていました。それからは、家の中を大掃事し
たり、捨てないような物は洗って汚れを落と
したりしていました。それでも、台風が我家
に残っていた復あとはひどいもので、はがれ
た壁のかけらや、辺りに散乱している様々な
生活用具のかたづけは大変でしたが、何より
も大切な家族全員が不事でいてくれたこと
がうれしかったです。

台風による水害から一年、現在の僕の家は
リフォームをしたことで、今ではすっかり
きれいになっていきます。ほぼ毎日カツプ
ライメンやインスタント食品を食べていた日々は
今思うと悪い夢のような出来事でした。協
力をしてくれた親戚にはとても感謝してい
ます。台風二十三号による水害の経験は、僕
の宝物になると思っています。大々の協
力が僕の家族を救い、導いてくれたおかげ
です。